



次男が初の著書を上梓

志茂田景樹・下田大気

直木賞作家志茂田景樹さん(72)の次男、下田大気さん(36)が著書『タクシーほど気楽な商売はない!』(光文社)を出版した。大気さんは十八の時に「親の七光りで」(本人)TVドラマに出演したが俳優を断念。高校卒業後、会社を設立するもこれも失敗。だが、〇九年にタクシ―会社に入るや成績一位になりトップクラスの年収八百万円を稼ぐようになった。

「一番になれるという自信はあったんです。遊び尽くして都内の道路は熟知していましたから(笑)。業務日報を徹底分析し、客層を把握、効率よく走る方法を考えました」

運転手の平均年齢は五十八歳。しかし大気さんは「若い人こそやるべき」と語る。

「給料は歩合制で工夫次第で稼げる一方、休日も多い。上

司との人間関係に悩むことも少ないです。僕は稼いだお金で、今はラーメン店の経営をやっている。タクシーは夢をかなえる手段なんですよ」

一方、最近ツイッターの人生相談での「名回答」が若者に人気の父・景樹さん。大気さんから「相談」はあった? 「いや、ないよ。僕は『やりたいことをやればいい』と言ってあったし。ただ、タクシ―は面白いなと思いました。大気は僕の付き人をしていた時期もあったが、運転もうまく、道をよく知っていたしね」